

ふれんど通信

第4号 平成20年11月11日
発行 児童養護施設 ふれんど

日々成長

施設長 吉岡一孝

今、事務室でメダカを飼っています。7月頃ある人から親メダカを10数匹頂いて、産まれた子どものメダカが8匹います。随分沢山産まれましたがかなり死んでしまいました。しかし現在の8匹になってからは減ることなく安定しています。3ミリぐらいに孵化してから、もう三ヶ月になるだろうと思われませんがなかなか大人にならずに、今2センチ程でしょうか。成長を楽しみに毎日様子を見ながら餌をやっていますが、なかなか成長が判りません。多分三ヶ月・90日で15ミリですから、一日に0.16~7ミリ大きくなっているのでしょう。

筈と違い、毎日毎日の成長は眼では確認できないものです。我が子の成長は判らずとも久しぶりに会ったよその子は大きくなったと思うものです。メダカの餌は一日に僅か耳搔き二杯ほどですが、そのような日々の積み重ねが文字通り成長の糧であるわけです。

考えてみれば私どもも今までお正月やお祭りで一定の御馳走を食べてきましたが、しかし大人になる身体を造ったのはありふれた毎日の食事のほうです。これは食育に限らず“心の成長”も同じではないでしょうか？家族で行くたまの旅行や海水浴あるいはスポーツ観戦等々のレジャーよりも毎日の家の中での語りやさり気ない眼差し、励まし、あるいは促し、はたまた親子喧嘩などの日常の些細な親子の関係と家庭の雰囲気が心の成長の大きな糧だと思えてなりません。

良寛の漢詩に次のようなものがあります。

袖	裏	毳	子	直	千	金	(袖の中に入っている毳は値千金です)
謂	言	好	手	無	等	匹	(思うに私に匹敵する上手な人はいない)
可	中	意	志	若	相	問	(もしその極意を問うならば)
一	二	三	四	五	六	七	(ただ単に一、二、三、と撞くだけです)

という位の意味でしょうか？自己流の理解なので適切かどうか解りませんが何か共感するものがあるように感じます。

親業を職業とする我々ですが、普通の家庭のように温かい、穏やかな時間が流れる日常性を維持する専門性を磨いていきたいと思えます。

良寛さんのように無心で子どもを楽しませたいものです。

今年もキャンプにに行ってきました！

レクが面白かった！

なんだかんだいって面白かった。

カレー作りが大変だった。

レストランの御飯がおいしかった。

寝袋がいやだった。



みんなの寝方が面白い。

虫に刺されて大変だった。

冒険がよかった！

お土産いっぱい買った。

みんなで行けてよかった。

幼児さんは別に一泊旅行に行きました。

おっきいお風呂にはいった！

バスにいっぱい乗った。

おむすびがおいしかった。

ザリガニとかめにさわれた！

水遊びをした。

ヒトデももった。

おみやげかった！



大きい魚がいた。

お馬さんにのった！

お肉をたくさん食べた。

小学校の運動会

とても暑い日だったけど、みんな頑張りました。楽しかった！

親子競争楽しかった。

お母さんが来てくれた！
嬉しかった！

スタートのピストル
うまくできた！

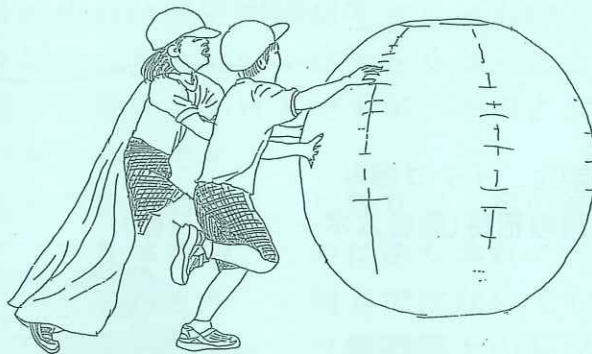
負けたけど
全力出した。

練習では失敗したけど
本番では バトン
落とさず、最後まで
上手にできた！



最後の運動会、勝ててよかった！

リレー頑張った！



当日はよく晴れて
日焼けの跡が残る
ほどの強い日差し
でした。子ども達は
元気に競技に出場
し、私達も大声で
応援しました。

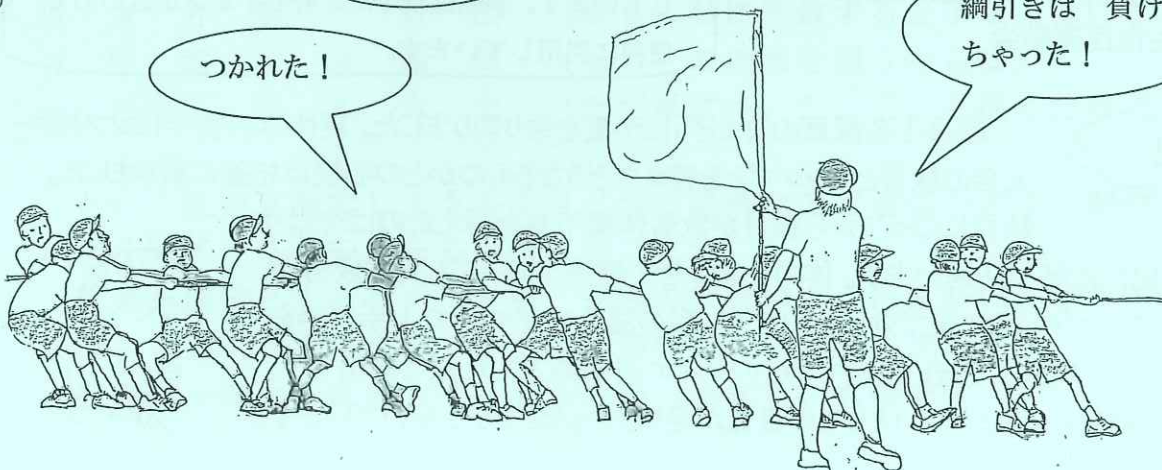
応援団失敗した。
でも、最後は勝った！

二人三脚、
練習よりも
早く走れた！

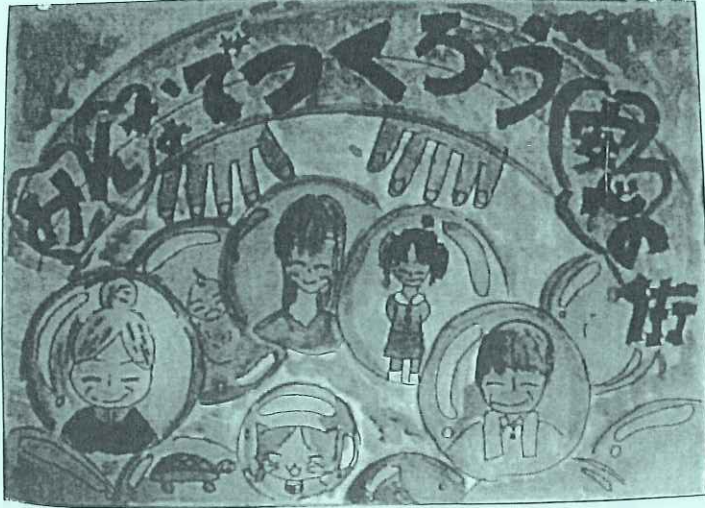
赤組が勝った！

つかれた！

綱引きは 負け
ちゃった！



表彰されました



(財)埼玉県防犯協会連合会及び埼玉県警察本部主催の防犯まちづくりの防犯ポスター部門においてAさんの作品が優秀であると認められました。昨日は羽生市産業文化ホールにて、防犯のまちづくり推進協議会会長及び羽生警察署長から表彰を受けました。羽生市では小学生はAさんだけでした。

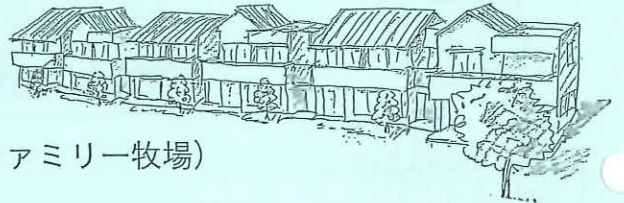
風船が魔の手からみんなを守っているのだそうです。



びっくりした。県知事のハンコが押してあった。はじめてもらったので、一生大事にしたいと思った。またこういう絵を描いて賞状をもらいたいと思った。

行事報告

- 5/24; 南中、体育祭 小学生、イチゴ摘み
- 6/28; サッカーJリーグ観戦招待(熊谷スポーツ文化公園)
- 7/3; 職員救急講習会
- 7/12; 羽生祭り
- 7/27; 羽生市商工会青年部との交流会
- 7/31. 8/1; 幼児一泊旅行(那須塩原、りんどう湖ファミリー牧場)
- 8/2; 曙ブレーキ花火大会招待
- 8/27. 28; キャンプ(宇都宮市冒険活動センター、ろまんちっく村)
- 9/14; 新郷第2小運動会
- 9/28; 新郷地区運動会
- 10/4; ソフトボール3施設交流戦
- 10/19; 羽生市民運動会



その他、各棟毎の外出行事や個別の外出も随時実施しています。映画鑑賞等は、羽生イオンが近いので便利に利用しています。

編集後記

職員1名減員のままだうにか夏を乗り切りました。夏休みの後半にソフトボール大会の練習とキャンプとを控えてどうなるものかとの心配は杞憂に終わりました。秋口になってから職員が数名体調不良を訴えたのはやはり夏の疲れが出たのだらうと思います。体力にまかせて頑張っているも実は疲労がたまっていてジャブのように後で効いたのです。私の場合は年の功で上手に手を抜いて、ついでに昼飯まで抜いたので5kgのダイエットに成功した様な次第です。体調を崩した職員には「まだプロとしての自覚が足りない」などどうそぶいています。

